

一般用医薬品のインターネット販売解禁から半年後の実態調査結果を発表

薬のインターネット販売利用者、安易な価格偏向明らかに

- インターネットで一般用医薬品を選ぶ際に重視されるのは、副作用や飲み合わせよりも「価格」。
- 店舗情報よりも、楽天、yahoo など、属しているオンラインモールを基準に購入サイトを選択。
- 一般用医薬品のインターネット販売制度に関して、正しい知識を持たないまま利用している人が多数。

平成26年6月から一般用医薬品のインターネット販売が解禁され、半年以上が経過しました。そこで、くすりの適正使用協議会(東京都・中央区、理事長:黒川達夫)は、インターネット販売解禁後の一般市民の意識と行動を明らかにするため、昨年6月以降にインターネットで一般用医薬品を購入した経験がある人500名を対象に調査を実施しました。

調査結果から、利用者は医薬品を選ぶポイントとして副作用や飲み合わせには関心が低く、圧倒的に価格を重視しており、購入サイトに関しては店舗の情報よりも、属しているオンラインモールの大きさを選択していることなどが分かりました。

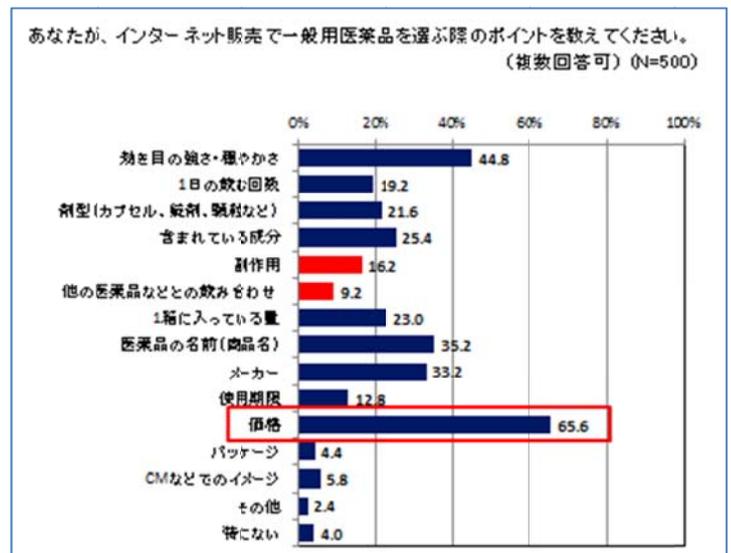
昨年11月には医薬品医療機器等法(旧:薬事法)が施行され、医薬品の適正使用に関する「国民の役割」が明記されたことから、国民一人ひとりが医薬品の有効性や安全性について正しい知識を持ち、より高い意識を持って適正使用することが求められています。

今回の調査を監修した帝京平成大学 薬学部 教授の井手口直子氏は、『本調査では、実際の店舗では初めて買う薬やすぐに必要な薬、インターネットではよく知っている薬と購入場所を使い分けている人が一定以上確認された一方、購入サイトや医薬品の選択基準については不安が多い結果となりました。「医薬品」は体内に取り込み効果を期待する特殊な商品です。法改正も背景に「自己責任」が問われている今、生活者としての「知識」と「知恵」を身に付け、薬局や薬剤師を活用しながら、かしこい生活者になることが求められているのではないのでしょうか。』とコメントしています。

インターネットでの購入においても医薬品は一般消費材と異なることを意識し、「医薬品リテラシー」をつけた上で利用する必要性が今回の調査により確認されました。*医薬品リテラシー:医薬品の本質を理解し、医薬品を正しく使用する能力

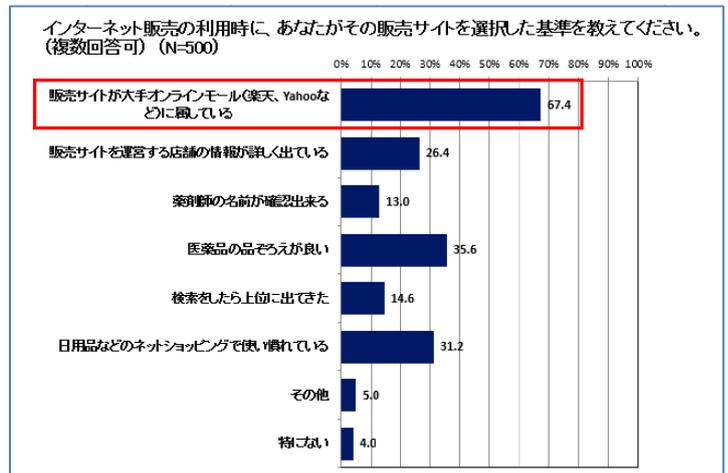
■ Point1 購入にあたり重視するのは、副作用や飲み合わせ等よりも「価格」

- インターネット販売で一般用医薬品を選ぶポイントは圧倒的に「価格」。本来重要視すべき副作用や飲み合わせは考慮されない傾向に。



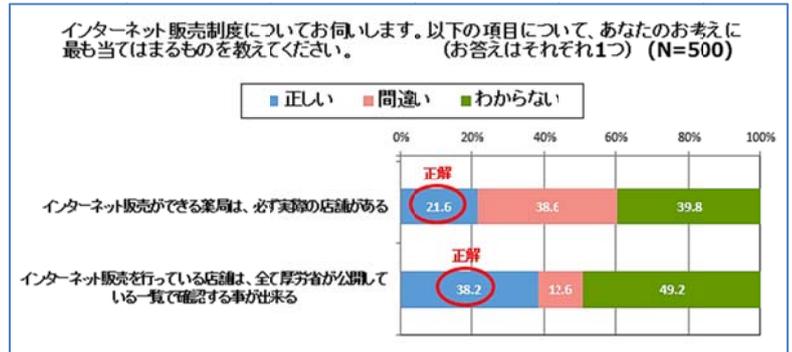
■ **Point2 販売サイトの選択ポイントは、店舗の情報よりも「属しているオンラインモール」**

- 6割以上がサイトを運営する店舗(薬局)の詳細よりも、販売サイトが属しているオンラインモールを基準にサイトを選択。



■ **Point3 インターネット販売に関する知識が不足**

- インターネット販売が出来る薬局には、実際の店舗があることを知らない人が約8割。
- インターネット販売を行う店舗は厚生労働省HPの一覧で確認出来る事を知らない人が約6割。



【参考】 **インターネット販売の今後の利用意向は高く、特に若年～中年男性にリピーターが多い**

- 約65%が今後も積極的に一般用医薬品のネット販売を利用したいと回答。
- 特に20代～40代の男性が、リピーターとして一般用医薬品のインターネット販売を利用。

■ **調査概要**

調査方法：インターネット調査(ネオマーケティング)

実施期間：2014年12月19日(金)～2014年12月22日(月)

調査対象者：2014年6月以降にインターネットで一般用医薬品を購入したことがある20-60代の男女：500名

■ **調査結果の詳細(電子媒体)**

<http://www.rad-ar.or.jp/information/pdf/nr14-150227.pdf> (くすりの適正使用協議会 ホームページ)

■ **くすりの適正使用協議会について**

くすりの適正使用協議会は、くすりのリスクとベネフィットを検証し、社会に提示することで患者さんのメリットに寄与することを目的に、1989年に研究開発指向型製薬企業11社によって設立されました。創設当初より、医薬品の本質を評価する学問「薬剤疫学」の普及、医薬品適正使用情報「くすりのしおり®」の提供など、医薬品の本質の理解促進と正しい使い方の啓発活動を行ってまいりました。2012年度からはキーコンセプトを「医薬品リテラシーの育成と活用」と定め、活動を行っています。

協議会ホームページ：<http://www.rad-ar.or.jp>

[製薬企業会員]

アステラス製薬(株) アストラゼネカ(株) アツヴィ(同) エーザイ(株) 大塚製薬(株) キッセイ薬品工業(株) 協和発酵キリン(株) 興和(株) 塩野義製薬(株)

サノフィ(株) 第一三共(株) 大正製薬(株) 大日本住友製薬(株) 武田薬品工業(株) 田辺三菱製薬(株) 中外製薬(株) 東和薬品(株)

日本新薬(株) ノバルティス ファーマ(株) ノボ ノルディスク ファーマ(株) マルホ(株) Meiji Seika ファルマ(株) (22社)

[賛助会員]

シミック株式会社 (1社)

[個人会員]

大野 善三(医学ジャーナリスト) 三輪 亮寿(弁護士) 古川 隆(医薬品コンサルタント) (3名)

【本件に関するお問い合わせ】 くすりの適正使用協議会 担当：梅田/安井

Tel:03-3663-8891 Fax:03-3663-8895 Mail:info@rad-ar.or.jp

インターネットによる 一般用医薬品の購入経験に 関する調査結果



2015年2月27日

くすりの適正使用協議会



くすりの適正使用協議会
RAD-AR

1

調査概要

【インターネットによる一般用医薬品の購入経験に関する調査】

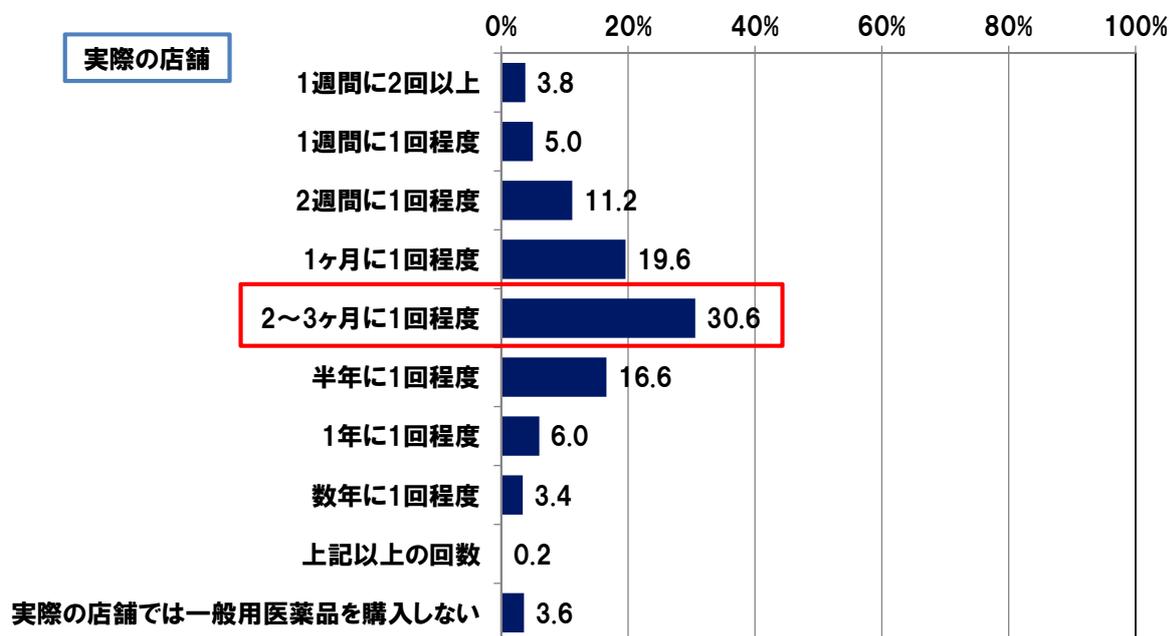
- 調査手法
インターネット調査（ネオマーケティング）
- 調査期間
2014年12月19日(金)～2014年12月22日(月)
- 調査対象者
2014年6月以降にインターネットで一般用医薬品を購入したことがある
20-60代の男女:500名
- 調査対象地域
全国
- 調査監修
帝京平成大学薬学部 教授 博士(薬学) 井手口直子先生

くすりの適正使用協議会
RAD-AR

2

一般用医薬品の購入頻度 ～実際の店舗の場合～

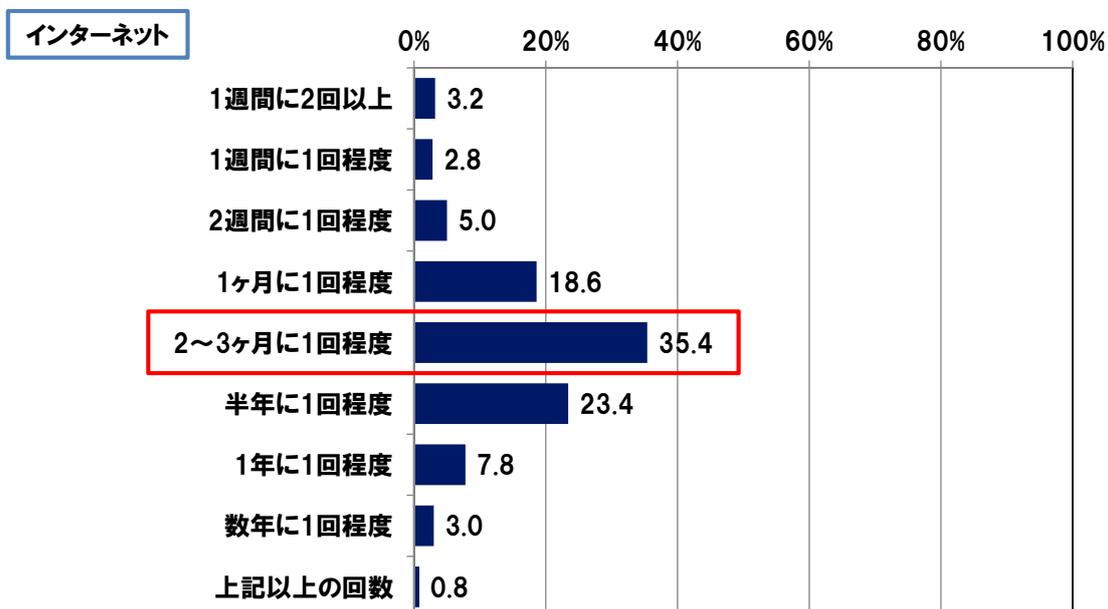
【Q1】あなたは、一般用医薬品をどれくらいの頻度で購入しますか。実際の店舗とインターネット販売、それぞれでお答えください。（お答えはそれぞれ1つ）（N=500）



くすりの適正使用協議会
RAD-AR

一般用医薬品の購入頻度 ～インターネットの場合～

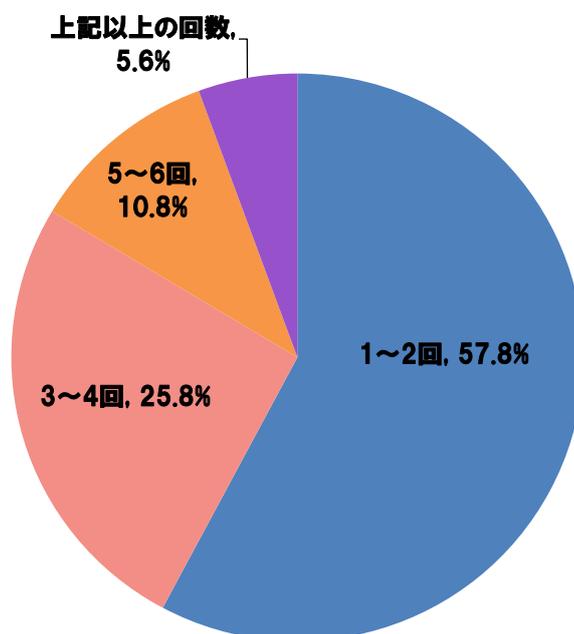
【Q1】あなたは、一般用医薬品をどれくらいの頻度で購入しますか。実際の店舗とインターネット販売、それぞれでお答えください。（お答えはそれぞれ1つ）（N=500）



くすりの適正使用協議会
RAD-AR

2014年6月以降に一般用医薬品をインターネットで購入した 回数は、1～2回が6割

【Q2】あなたが、今年6月以降に一般用医薬品をインターネットで購入した回数を教えてください。
(お答えは1つ)(N=500)



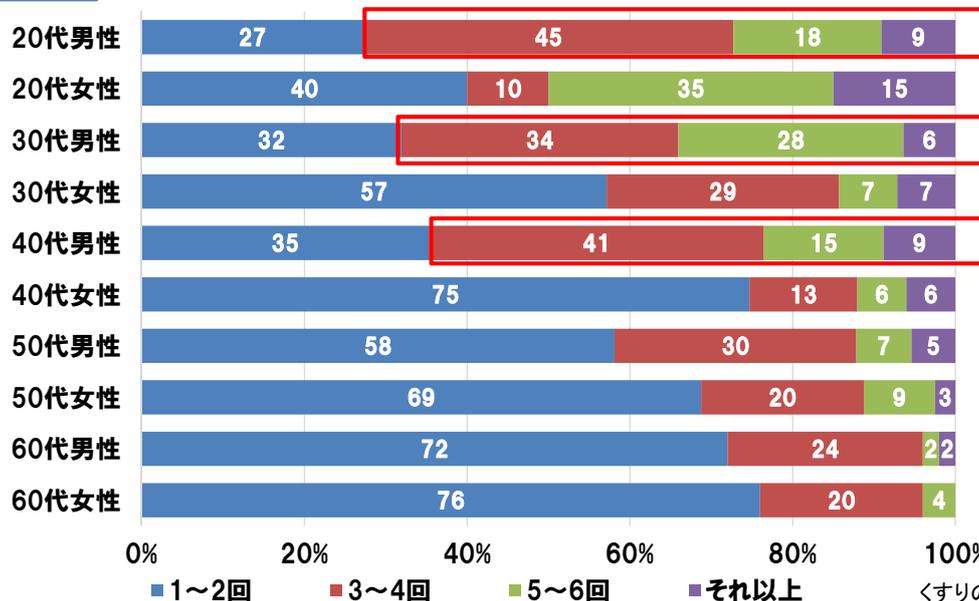
くすりの適正使用協議会
RAD-AR

5

特に男性がリピーターとして一般用医薬品のネット販売を利用

【Q2】あなたが、今年6月以降に一般用医薬品をインターネットで購入した回数を教えてください。
(お答えは1つ)(N=500)

【年代×性別】 2014年6月以降にインターネット販売を使用した回数



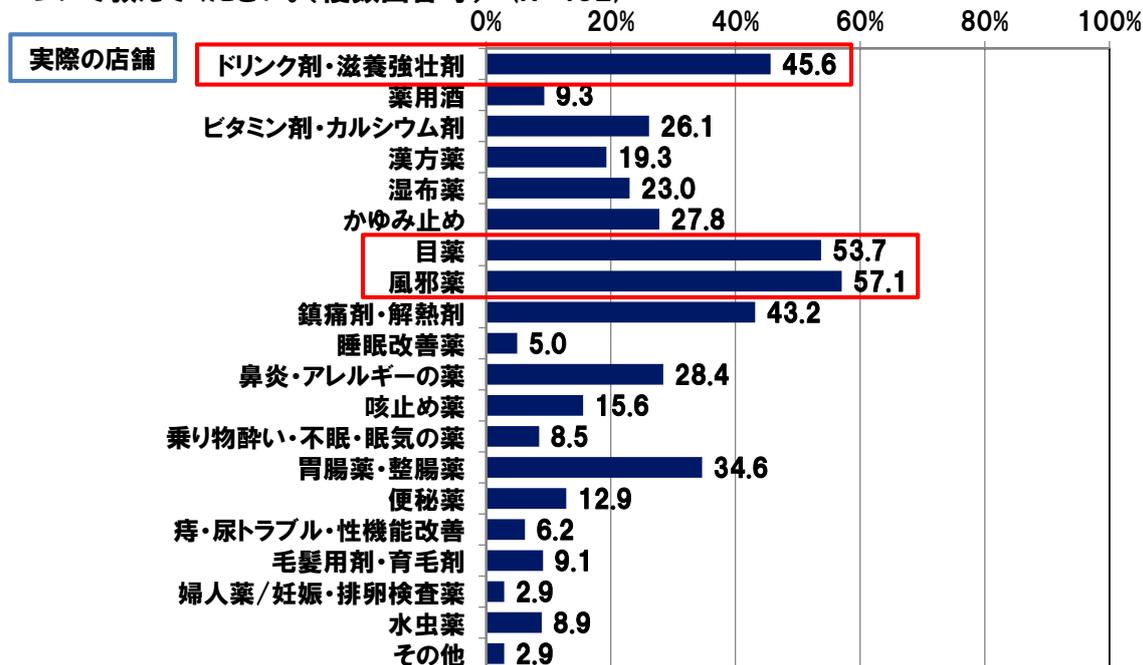
くすりの適正使用協議会
RAD-AR

6

実際の店舗でよく購入されているのは、すぐに必要とする

①風邪薬 ②目薬 ③ドリンク剤

【Q3】あなたが、今年6月以降に実際の店舗およびインターネットで購入した一般用医薬品について教えてください。(複数回答可) (N=482)



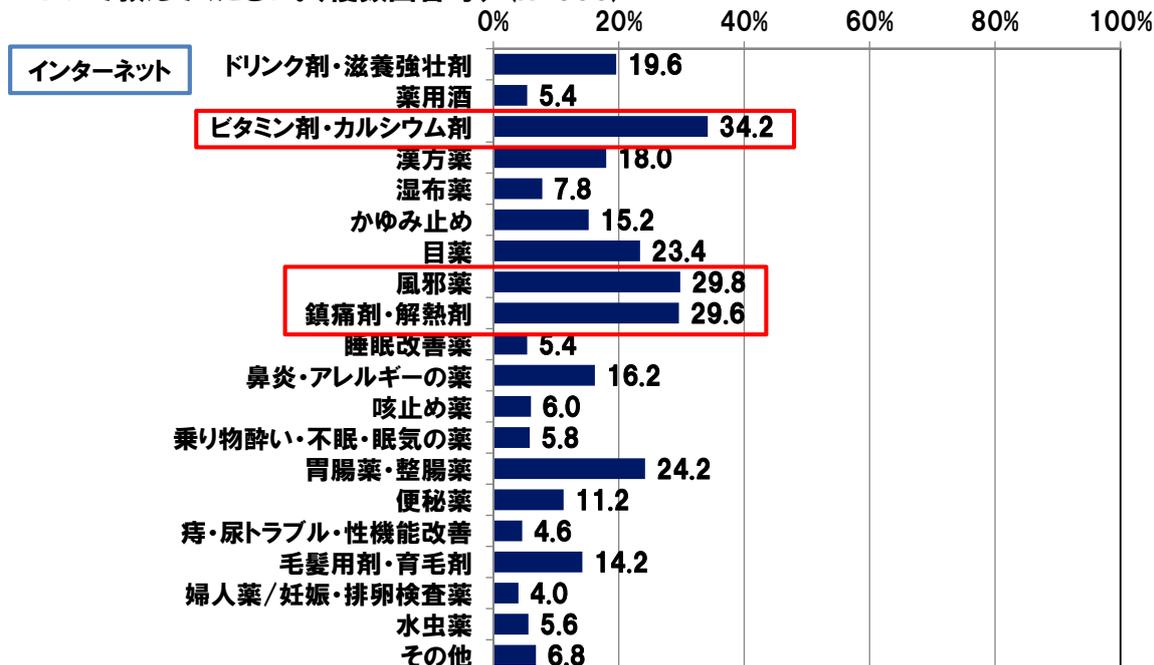
くすりの適正使用協議会



インターネットでよく購入されているのは、定期的に使用する

①ビタミン剤・カルシウム剤 ②風邪薬 ③鎮痛剤・解熱剤

【Q3】あなたが、今年6月以降に実際の店舗およびインターネットで購入した一般用医薬品について教えてください。(複数回答可) (N=500)

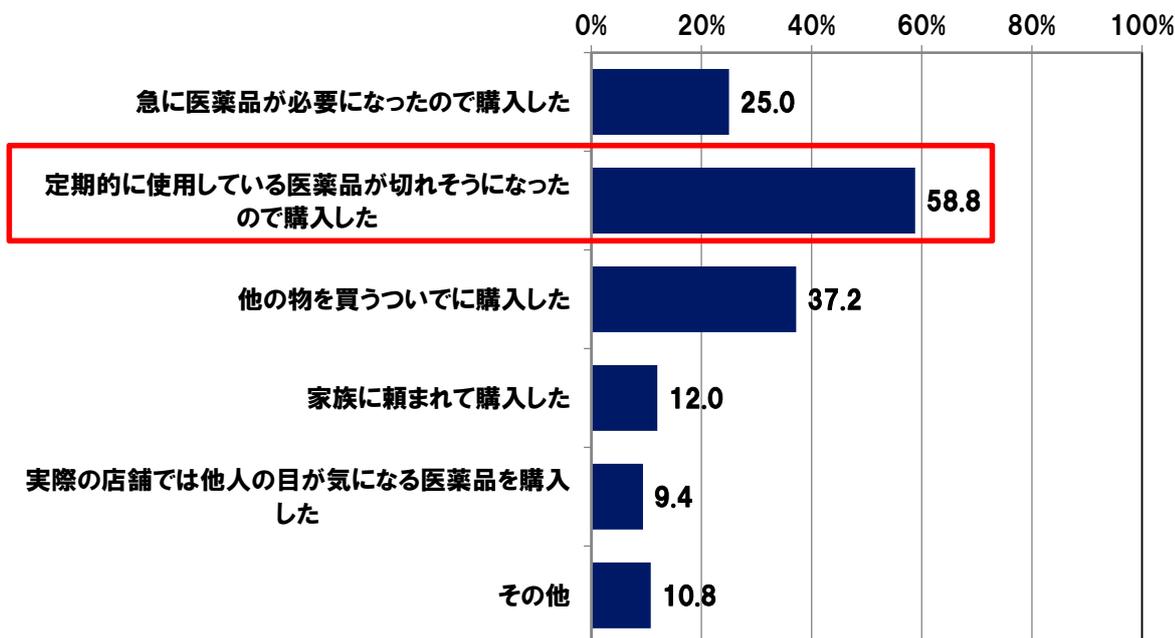


くすりの適正使用協議会



インターネットで医薬品を購入したきっかけは、6割が「定期的に使用している医薬品が切れそうになったので」

【Q4】あなたが、インターネットで一般用医薬品を購入したきっかけについて、下記のうち当てはまるものを選んでください。(複数回答可) (N=500)

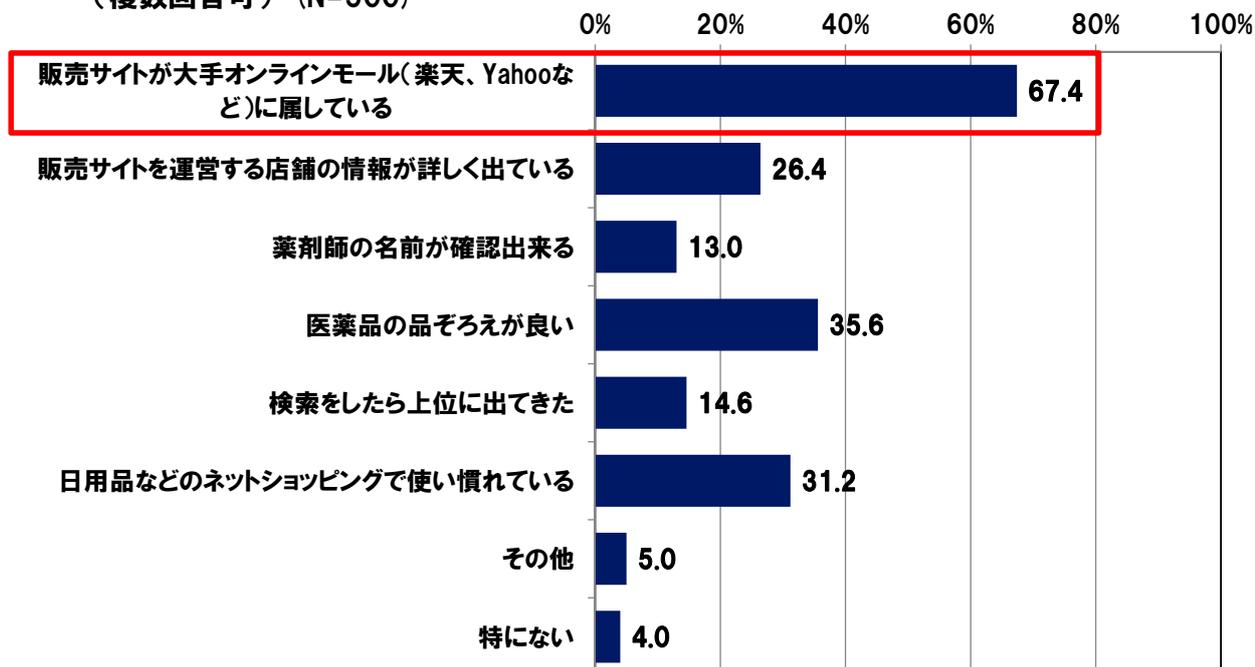


くすりの適正使用協議会
RAD-AR

9

6割以上が販売サイトが属しているオンラインモールの大きさを基準にサイトを選択

【Q5】インターネット販売の利用時に、あなたがその販売サイトを選択した基準を教えてください。(複数回答可) (N=500)

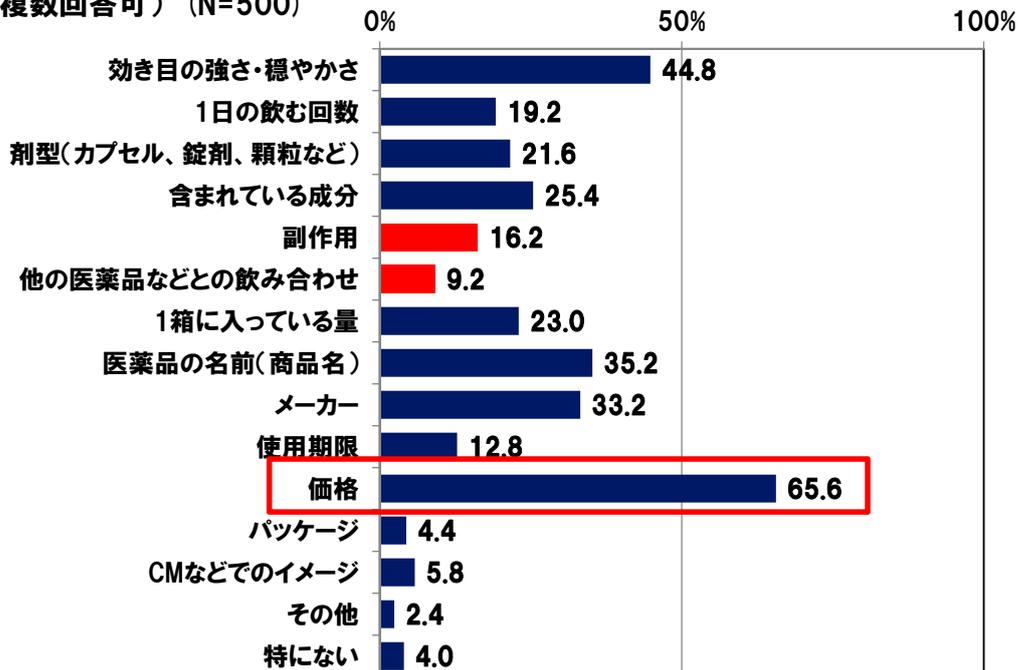


くすりの適正使用協議会
RAD-AR

10

ネット販売で一般用医薬品を選ぶポイントは圧倒的に「価格」 一方、副作用や飲み合わせは考慮されない傾向に

【Q6】あなたが、インターネット販売で一般用医薬品を選ぶ際のポイントを教えてください。
(複数回答可) (N=500)

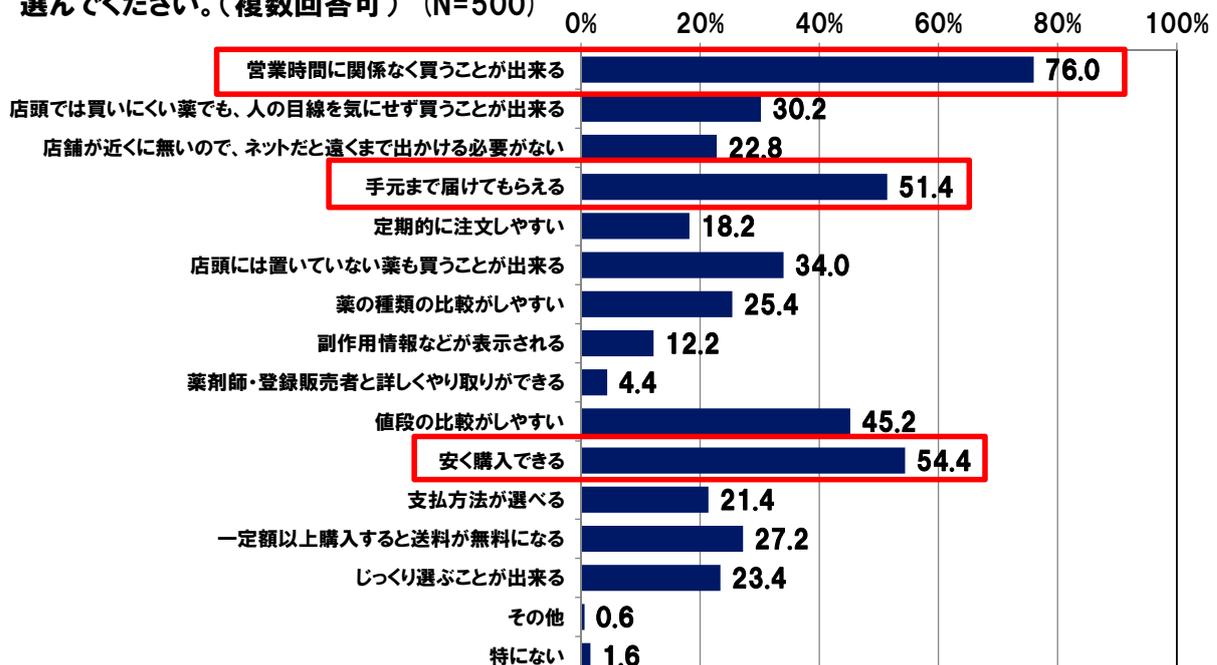


くすりの適正使用協議会
RAD-AR

11

ネット販売で1番便利だと感じた点は 「営業時間に関係なく買うことができる」こと

【Q7】あなたが、インターネット販売を利用して、実際の店舗と比べて便利だと感じた点を
選んでください。(複数回答可) (N=500)

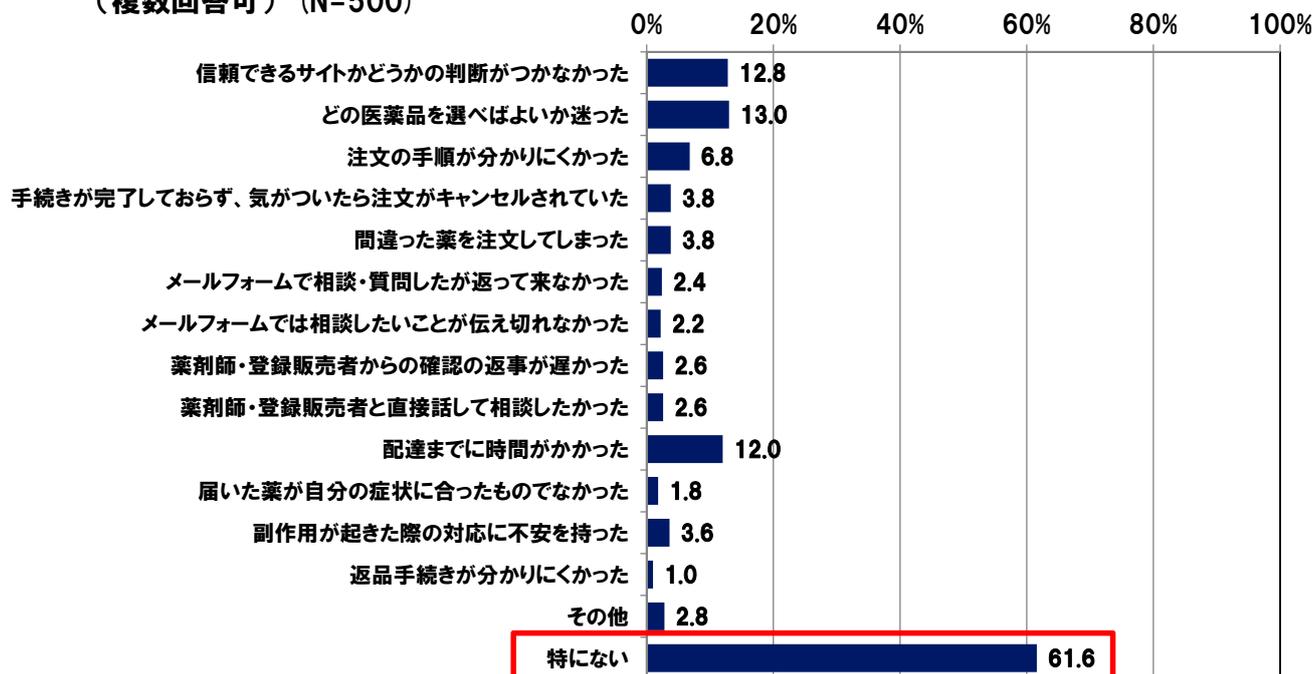


くすりの適正使用協議会
RAD-AR

12

半数以上がネット販売を利用して困ったこと、不安に感じたことは特にないと回答

【Q8】インターネット販売を利用して、あなたが困ったことがあれば下記から選んでください。
(複数回答可) (N=500)

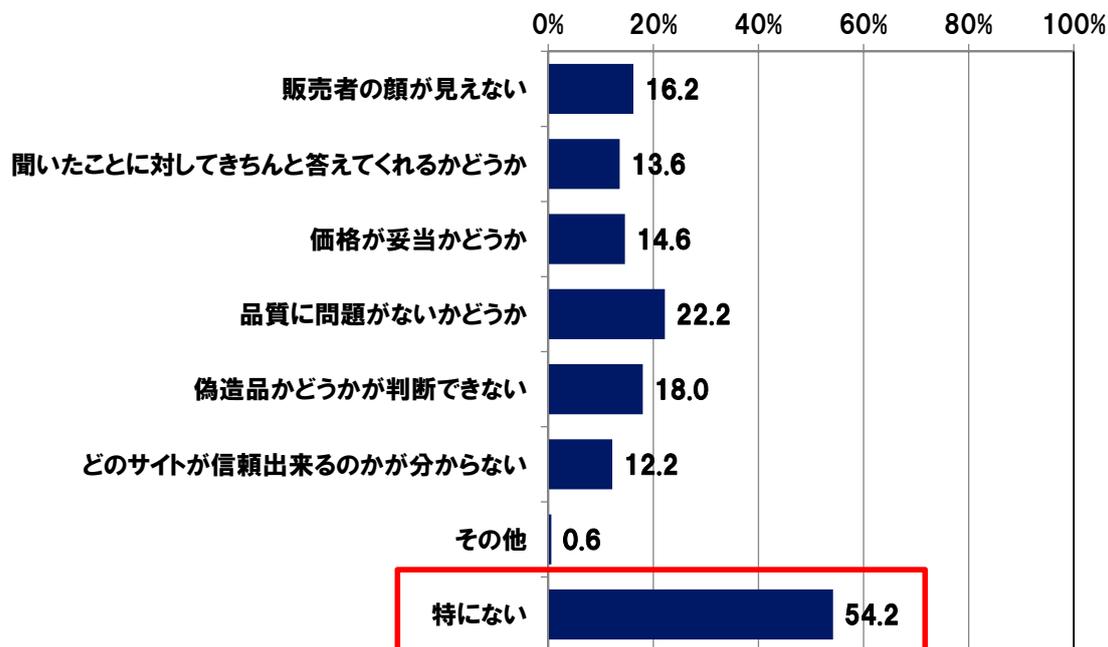


くすりの適正使用協議会



半数以上がネット販売を利用して困ったこと、不安に感じたことは特にないと回答

【Q9】インターネット販売を利用して、あなたが不安に感じた点を選んでください。
(複数回答可) (N=500)

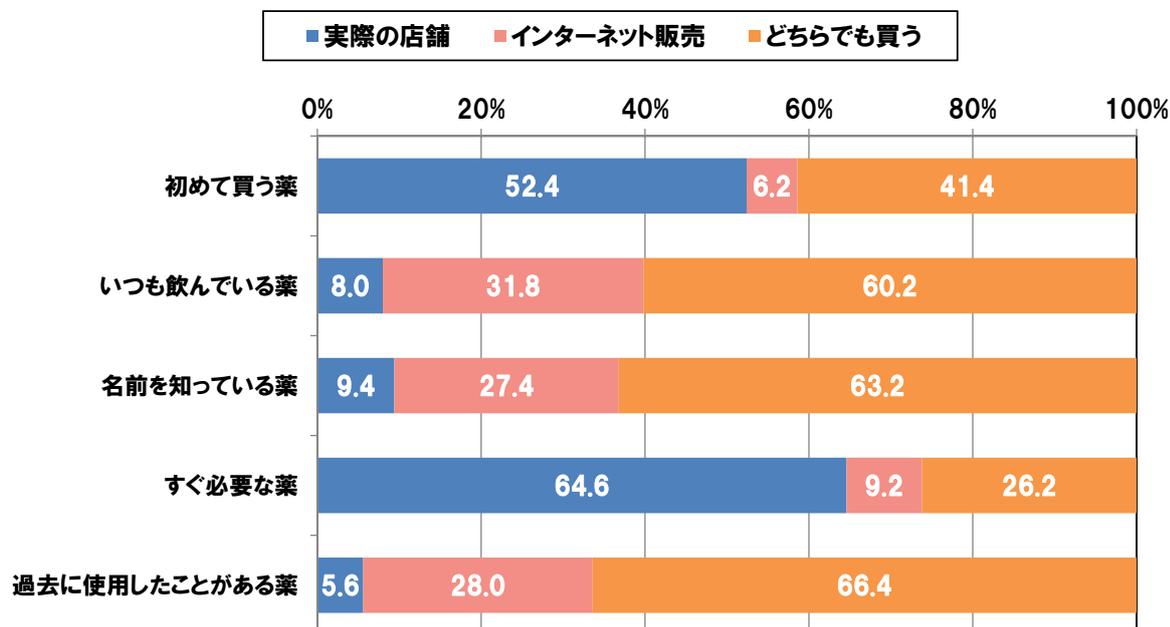


くすりの適正使用協議会



実際の店舗では、初めて買う薬やすぐに必要な薬、インターネットではよく知っている薬と、購入場所を使い分けている

【Q10】あなたは、ドラッグストアなどの実際の店舗とインターネット販売をどのように使い分けますか。以下の薬を購入する場合、利用する(であろう)サービスについて、最も当てはまる項目をそれぞれ1つずつ選んでください。(お答えはそれぞれ1つ) (N=500)

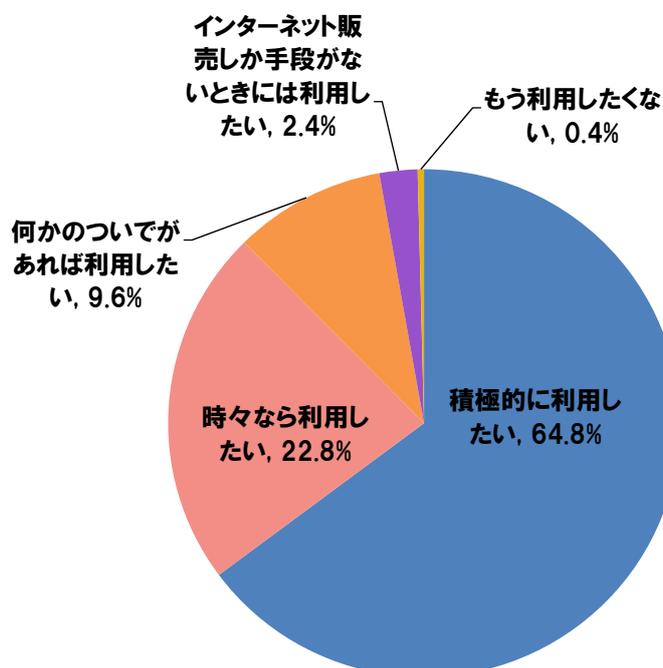


くすりの適正使用協議会
RAD-AR

15

約65%が今後も積極的に一般用医薬品のネット販売を利用したいと回答

【Q11】あなたは、今後も医薬品のインターネット販売を利用していきたいと思いますか。(お答えは1つ) (N=500)



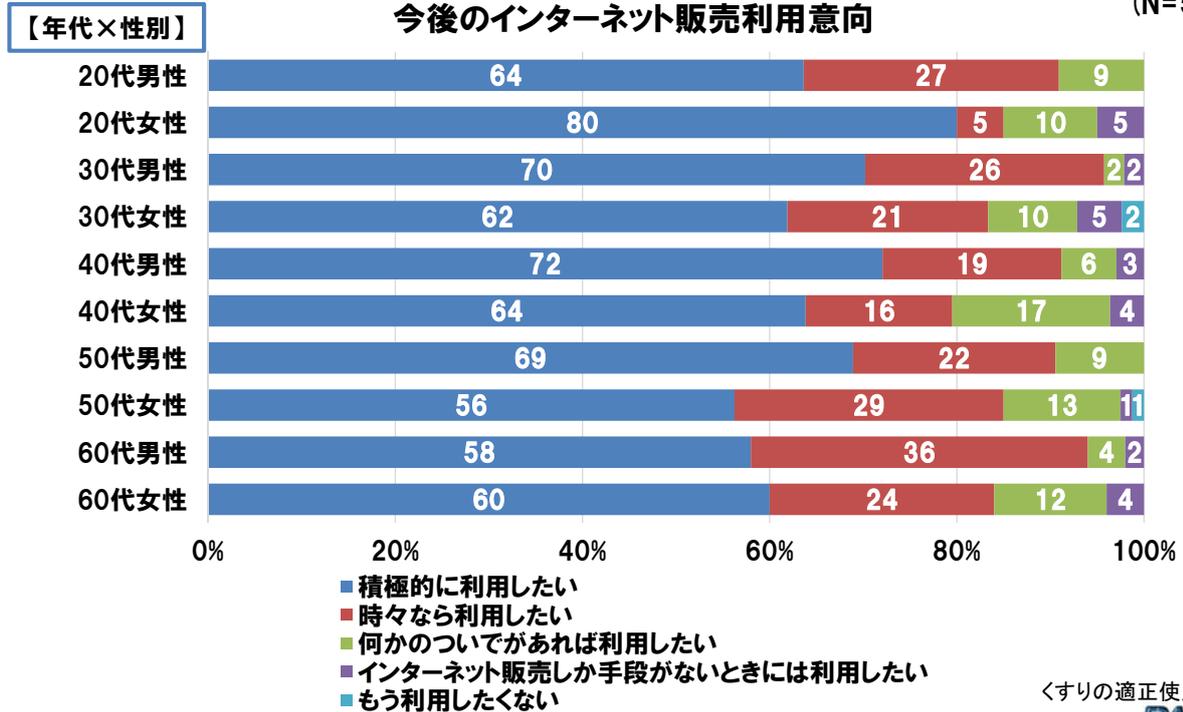
くすりの適正使用協議会
RAD-AR

16

今後の利用意向に関しても、男性の方が積極的に利用したいと回答

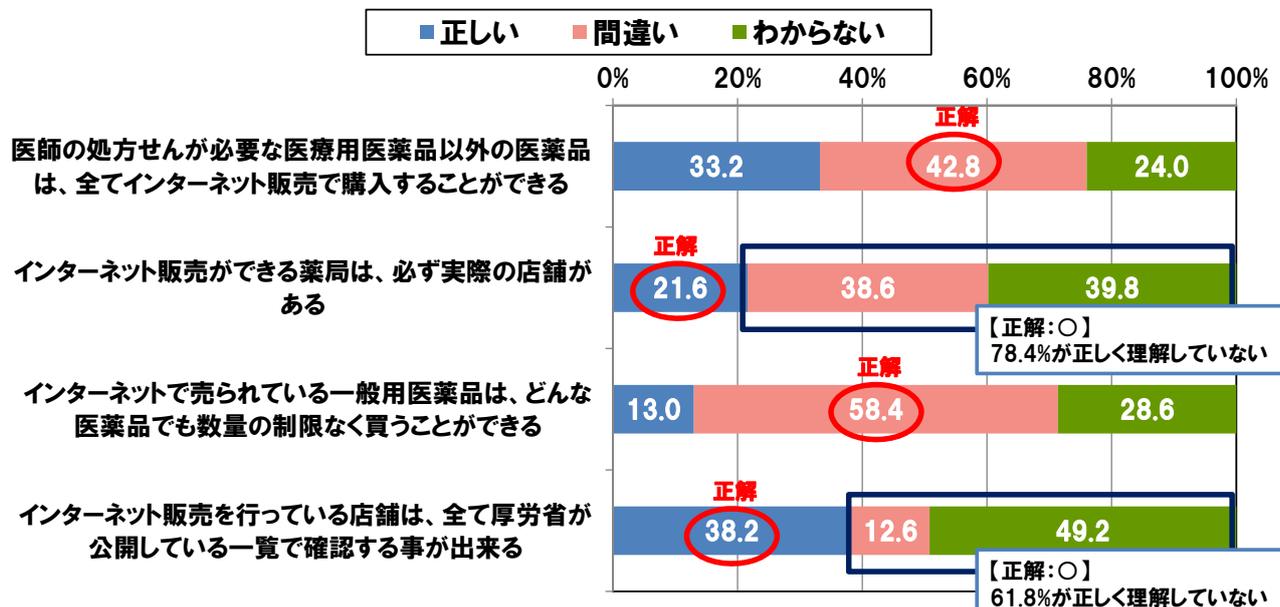
【Q11】あなたは、今後も医薬品のインターネット販売を利用していきたいと思いますか。(お答えは1つ)

(N=500)



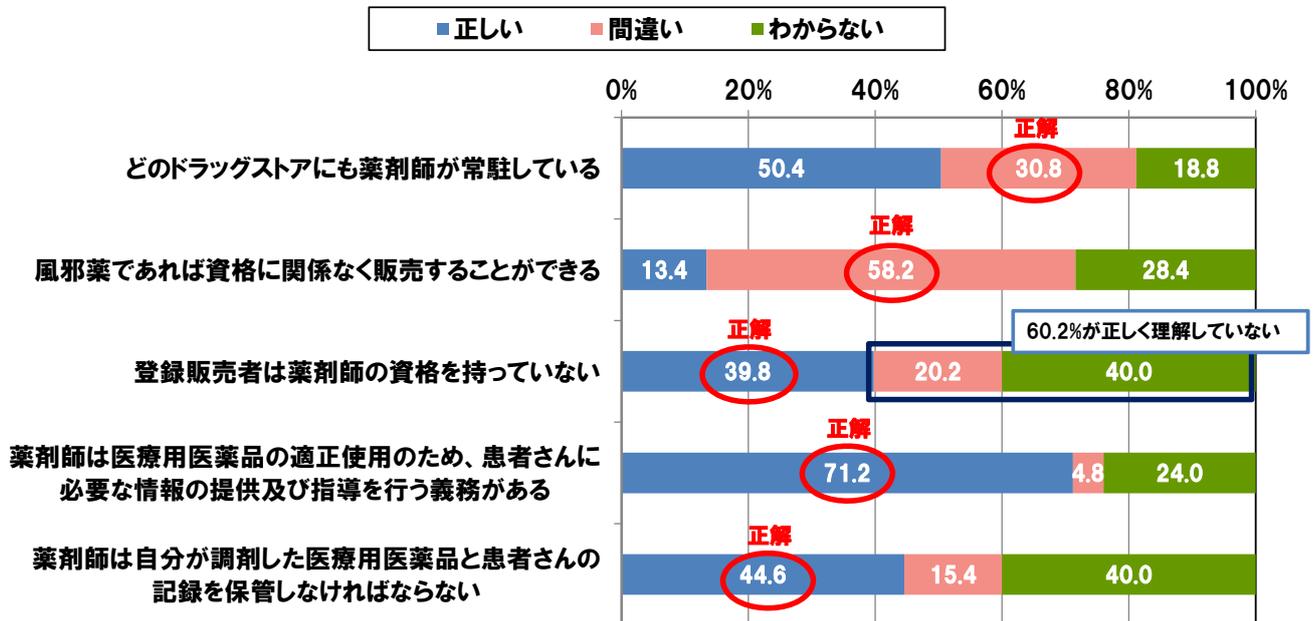
- ・ネット販売が出来る薬局には実際の店舗があることを知らない人が約8割
- ・ネット販売を行う店舗は厚生労働省HPの一覧で確認出来る事を知らない人が約6割

【Q12】インターネット販売制度についてお伺いします。以下の項目について、あなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。(お答えはそれぞれ1つ) (N=500)



薬剤師と登録販売者の資格について正しく理解出来ていない人が約6割

【Q13】ドラッグストアと薬剤師についてお伺いします。以下の項目についてあなたのお考えに最も当てはまるものを教えてください。(お答えはそれぞれ1つ) (N=500)

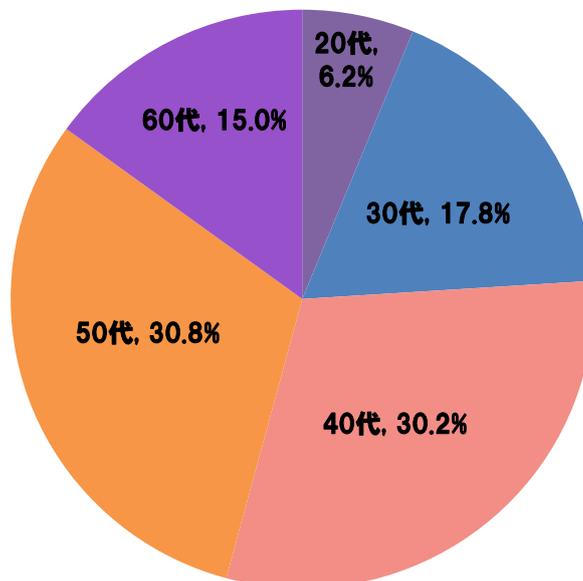


くすりの適正使用協議会
RAD-AR

【参考】

• 本調査のパネル

【年代別】
(N=500)



くすりの適正使用協議会
RAD-AR